別紙（森林管理計画書第6条関係）

**薬剤使用の際の環境・社会リスクアセスメント**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **確認者** |  |  | **確認日** | 年　　　月 　　日 |
| **散布場所（現場名、林小班番号等）** |  |  | **使用の規模（面積等）** |  |
| **使用予定の化学合成農薬** |  |
| **使用目的（植生、丸太、人間の健康、家畜、在来生物、種子または苗木の保護。雑草抑制、他）** |  |

リスクの評価及び特定–毒性と曝露の関数- リスクを最小限にするためのリスク回避 ・ 低減戦略

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 曝露に関する要素 | 価値の最小限のリスト | 危険性グループと危険性の種類 | リスクの有無に関する説明 | リスクを最小限にするための回避・低減戦（※） |
| 急性毒性 | 慢性毒性 | 環境毒性 |
| 接触または経口摂取による毒性 | 吸入による毒性 | 発がん性 | 哺乳類に対する突然変異誘発性 | 生殖・発生毒性 | 内分泌攪乱 | 水生生物に対する 急性毒性 | 土壌と水への残留性 | 生物濃縮及び生物蓄積 |
| 環境 | 土壌（侵食、劣化、生物相、炭素貯蔵） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 水（地下水、表面水、水供給） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 大気（空気の質、温暖化ガス） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 非対象種（植物、野生生物、ハチ及びその他の授粉媒介者、ペット） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 非木材林産物（FSC-STD-01-001 V5-2 FSC の原則と基準の基準5.1 の通り） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高い保護価値（特にHCV 1～4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 景観（美的価値、蓄積影響） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 生態系サービス（水、土壌、炭素隔離、観光） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 社会 | 高い保護価値（特にHCV 5～6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 健康（生殖能力、生殖に関する健康、呼吸器の健康状態、皮膚、神経や消化器官への影響、がん及びホルモンバランスへの影響） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 福祉 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 食糧及び水 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 社会インフラ（学校や病院、レクリエーションのためのインフラ、管理区画に隣接するインフラ） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 権利（法的及び慣習的） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 | その他 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（※）リスク回避・低減戦略は、下記の暴露に関する変数の最小限のリストを考慮して策定される。

【曝露に関する変数】

　上記の表にて、リスク回避・低減戦略を記載する際には、以下の曝露に関する変数の最小限のリストを考慮しなければならない。

　○　剤型 （種類及び成分）

　○　有効成分の混合 （配合及び混合工程）

　○　有効成分の濃度

　○　有効成分の使用量

　○　使用頻度及び使用間隔

　○　使用場所の規模

　○　使用方法（例：スポット、葉面散布、スプレー、空中散布、ばら撒き）

　○　使用方法と器具（例：背負い式噴霧機、ヘリコプター、 ドローン、飛行機）

　○　以前の使用回数

　○　有効成分の代謝産物

　○　労働者の能力と技術 （農薬取り扱いライセンス、 教育訓練、 ラベルや説明書を読み、 理解する能力）

　○　安全装備（防護具）

　○　緊急事態時関連装備（例：救急用具、漏れ防止・対策キット）

　○　現場の状態（例：土壌の種類、地形）

　○　予想される天候及び気象条件（例：風速及び風向き、気温、湿度）

　○　散布ドリフト

　○　廃棄物管理システム

　○　近隣住民に対する農薬使用の情報提供状況（例：農薬使用に関連するリスク、使用後に現場に入れるようになる時期

別紙（森林管理計画書第6条関係）

**化学薬品使用報告書**

年　　月　　日

F-net大井川管理責任者　様

サイト管理責任者：

化学薬品を使用したので下記のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内　　容 |
| 施用日 | 　　　令和　　　年　　月　　　日　　～　令和　　　　年　　月　　　日　 |
| 施用場所・面積 | 林小班番号（　　　　　　　　　　　ha） |
| 施用の理由 |  |
| 薬品の名称 |  |
| 使用数量 | (散布濃度、散布回数等) |
| 確認事項 | 水道水源の有無　　　　　　　有　　　　・　　　　無希少動植物の生息　　　　　　有　　　　・　　　　無 |
| 特記事項 |  |
| 添付書類 | ・鳥獣虫害の被害状況等のわかる写真・作業中写真（適切な装備かどうかわかるもの） |

別紙（森林管理計画書第6条関係）

**化学肥料使用報告書**

年　　月　　日

F-net大井川管理責任者　様

サイト管理責任者：

化学肥料を使用したので下記のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内　　容 |
| 施肥日 | 　　　　　　　年　　月　　日　　～　　　　　　　　年　　月　　日　 |
| 施用場所・面積 | 林小班番号（　　　　　　　　　　　ha） |
| 施肥の理由 |  |
| 肥料の名称 |  |
| 使用数量 | (散布量、散布回数等) |
| 確認事項 | 水道水源の有無　　　　　　　有　　　　・　　　　無希少動植物の生息　　　　　　有　　　　・　　　　無 |
| 特記事項 |  |
| 添付書類 | ・施肥を行った場所の全体写真・樹木の生育の様子がわかる写真・作業中写真（適切な装備かどうかわかるもの） |